

# クルナ管区の非感染性疾患に

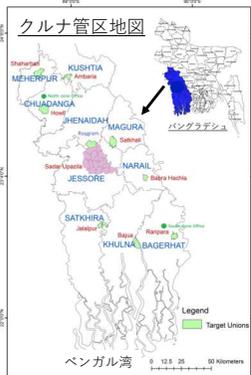
途上国の健康問題というコレラ、赤痢、マラリア、デング熱、結核などといった感染する病気を心配される方が多いと思います。もちろん、伝染病は今も問題ですが、それとは別に、糖尿病、高血圧、癌など感染しない病気が新たな課題となっています。これらの病気は非感染性疾患=NCDs (Non communicable Diseases) と呼ばれます。

AANは7年前から日本の外務省とNGOの連携スキームを活用してバングラデシュのNCDs対策に協力してきました。2012年に行ったニーズ調査の結果をもとに、2013～2015年に非感染性疾患リスク低減事業を実施して対策モデルを形成。そのモデルを普及するための「クルナ管区非感染性疾患のためのコミュニティ強化事業」を2016年～2019年に実施しました。3月にこの事業が終わりましたのでご報告します。

クルナ管区は10県からなり、人口1600万、面積は瀬戸内海とほぼ同様の22,285km<sup>2</sup>です。スタッフの数も限られていることから、各県に一つずつ対象地域(ユニオン)を選定し、そのユニオンをモデルに他の地域への拡大を目指すことにしました。

## 【実施目的】健康的な生活スタイル推進の基盤をコミュニティ主体で作ること！

そのための活動	対象数
ボランティア育成 (地元有志、教師、女性グループ等)	4653人
脆弱地域選定 (僻地、貧困層・宗教的マイノリティ居住地域等)	267地域
健康教育実施 (保健施設、宗教施設、中学校を含む)	687,045人
早期発見のための健康診断キャンペーン	66,008人
砒素検査の実施	1,315基
改良かまどの設置	2,655基
政府クリニックや地方行政機関との連携	全地域



# 対するコミュニティ強化事業

2016年3月～2019年3月

## バングラデシュ政府との連携

2017年に、AANは保健家族福祉省保健サービス局NCD対策課と連携協定を結びました。バングラデシュではNCD予防対策の経験がないため、AANの現場での経験を重要視してくれています。政府との連携があることで私たちの活動が他の地域に展開する可能性が広がります。

### NCDスクリーニングの調査対象者数

	全住民	25歳以上	測定数	未測定数
男性	11,607人	6,491人	4,439人	2,052人(31.6%)
女性	11,755人	7,277人	7,011人	266人(3.7%)
合計	23,362人	13,768人	11,450人	2,318人(16.8%)

### 血圧測定結果

	高血圧 (非服薬者+服薬者)	服薬者数	服薬者のうち 高血圧
男性	1,177人(26.5%)	340人	231人(67.9%)
女性	1,901人(27.1%)	655人	478人(73.0%)
合計	3,078人(26.9%)	995人	709人(71.3%)

### 血糖測定結果

血糖測定	男性	割合	女性	割合	全体	割合
正常 (<6.0)	1,016	67%	2,959	68%	3,975	68%
やや高い (6.1-6.9)	211	14%	636	15%	847	14%
高血糖 (7.00-30.00)	290	19%	736	17%	1,026	18%
合計	1,517	100%	4,331	100%	5,848	100%



### NCDスクリーニング(全員調査)を1地区で実施

保健省は保健セクター計画の中で非感染性疾患に関する計画として、200郡を選び、25歳以上の男女全員の調査(NCDスクリーニング)を実施するとしています。しかし、具体的な実施方法は決まっていなかった。担当の保健サービス局非感染性疾患対策課は、調査を試行するにあたり、NCD対策に2013年から取り組んでいるAANに協力を要請してきました。

関係者と協議を経て、プロジェクト対象地域の1つであるジナイダ県カリゴンジ郡ライグラムユニオンにて、2017年秋よりBMIや血圧などを測定するNCDスクリーニングを開始することが決まりました。

### 血圧測定

血圧測定者のうち、最高血圧が140mmHg以上または最低血圧が90mmHg以上であった人は3,078人(26.9%)でした。測定者のうち、24時間以内に抗血圧薬を服用していた人は995人で、そのうち70%以上の患者の血圧は適切に管理されていませんでした。薬や量が患者にあっていない、医師の指示通り服薬していないなどの原因が考えられます。私たちはこれまで経済的・地理的・社会的要因から医療管理下に入れない患者の存在を問題視していましたが、医療にかかっても効果が出ていない人が7割いることは新たな問題です。

### 血糖測定

血糖値測定は、検査用紙が届くのに1年以上かかったため、他の調査から1年遅れました。2018年11月に、9日間の日程で40カ所でキャンペーンをする一斉調査の計画を立てました。血糖測定は対象人口の43%をカバーすることができました。5,848人が測定を受け、そのうち18%が高血糖、14%やや高い結果という結果でした。

### 全国展開の可能性

今回の全戸調査はスマートフォンのアプリを使用し、入力データがそのままサーバーに保管されるシステムを導入しました。こうした新しい方法は特に関心を集めました。2019年2月27日に保健サービス局は本事業の最終セミナーを開催し、AANのやり方をもとにして、全国NCDスクリーニングのマスタープランを作ると表明しました。

## 次のチャレンジは医療への橋渡し

AANのこれまでの主な活動はコミュニティレベルの予防と早期発見でした。NCDに対する恐怖や危機感がバングラデシュの農村部にも浸透していることもあり、予防策への関心は高く、個人やコミュニティの意識や行動を変えることができました。しかし、意識が変わっても、すでに病気になるってしまった人の治療がなく悪化していくのを見守るしかないことは、住民を落胆させ、あきらめにつながってしまいます。予防は何より大事ですが、経済的な打撃を受けずに治療の機会が約束されることも大切なことです。

幸い、バングラデシュ政府はNCDの中で高血圧と糖尿病の治療を政府病院で無料で受けられるよう、この1、2年で準備を進めています。しかし、患者数の多さ、医療機関の人材不足、保健省内の調達遅れなど問題は山積しており、サービスが開始されても機能不全に陥る可能性が高いと考えています。

このためAANは、政府が設置するNCD相談室(NCDコーナー)の機能強化に協力することとなりました。NCDコーナーの設備強化、健康教育環境整備、患者データ管理システムの構築、病院と地域との連携など、2019年3月から支援を行う予定です。

## 健康診断キャンペーン NCDs Risk Identification Campaign (NRI)

最も重要な活動は、予防可能なNCDリスクを村人たちに知ってもらうためにBMIや血圧を測定したり、指導を行う、健康診断キャンペーンです。住民や地元グループが主体となり、政府保健施設と協力。場所はクリニックや予防接種センター、そして貧困層や宗教的マイノリティが住む地域、保健施設へのアクセスが悪い地域など、脆弱地域などで1,340回実施し、66,008人が参加しました。

主催者	実施数(回)	参加者数		
		男性	女性	合計
コミュニティグループ	815	9,047	35,945	44,992
ユースクラブ	307	6,484	8,124	14,608
女性グループ	220	1,358	5,050	6,408
合計	1,342	16,889	49,119	66,008



受付



体重測定



身長測定



腹囲測定



血圧測定



血糖値測定



チャートでBMIの確認



指導(野菜摂取量を確認)